

MICRO ACEの新製品
鉄道模型マイクロエース

平成 年 月
 株式会社 マイクロエース

製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

A7703 E10-1 金沢機関区

予価:8,600円(税別)

JANコード:101476 カートン内入数:内箱12 外箱24

A7704 4110型-4 美唄鉄道(後期型)

予価:8,600円(税別)

JANコード:101483 カートン内入数:内箱12 外箱24



A7703



A7704

| | |
|-------------|---|
| 商品形態 | Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 単品プラケース入り) |
| 実車 | <p>E10: 勾配区間用の4110型の代替機として1948年に5両製造された国鉄型最後の新製蒸気機関車で、奥羽本線の福島ー米沢間の勾配区間用に配置されました。当初はバック運転を前提としていたため機関士席が通常の反対側にあるのが特徴です。奥羽本線の電化後は、肥薩線や北陸本線の勾配区間で使用されていましたが、最後は北陸本線の米原ー田村間の交直流電化区間接続用に1962年まで使用されました。現在2号機が青梅鉄道公園に保存されています。</p> <p>4110(後期型) 美唄鉄道は函館本線美唄駅から1914年11月美唄～沼貝(後の美唄炭山)が軽便鉄道として開通。その後三菱の管理下に置かれ美唄鉄道となり、1924年12月に常盤台まで延長され全線開業となりました。石炭産業の衰退に伴い1972年6月1日に廃止となっています。美唄鉄道には、Eタンク機関車が活躍していたことで有名で、奥羽本線板谷峠の補機として活躍していた4110型機関車を、国鉄から払い下げられた車両の他に、三菱造船神戸造船所に特別注文して製造された自社発注機(2～4号機)も3両いました。現在でも駅舎が残る東明駅近くに、2号機が保存されています。</p> |
| 商品概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロエース 蒸気機関車シリーズの更なる充実。 ・2001年に発売しご好評を頂いたE10、4110の新バリエーション。 ・5軸動輪の大型タンク機関車。 ・ヘッドライト点灯。 ・床下が引き締まる黒染め車輪を採用。 ・今回は貨車は含まれません。 |
| A7703 | <ul style="list-style-type: none"> ・1950年頃、金沢機関区に配置され北陸本線金沢～石動間の補機として活躍した頃をプロトタイプ。 ・煙誘導板部品を新規製作し、A7701・E10-2と作り分け。 |
| A7704 | <ul style="list-style-type: none"> ・美唄鉄道4号機をプロトタイプ。 ・ボディ前方に取り付けられたエアタンク部品や、専用の煙室扉、スノープロウ等を新規製作。 |